

## 心疾患児の生活指導指針に関する研究

分担研究者	日本大学小児科	大	国	真	彦
研究協力者	東京女子医大循環器小児科	高	尾	篤	良
	島根医科大学小児科	森		忠	三
	東京医科歯科大学小児科	保	崎	純	郎
	弘前大学医療技術短大	川	村	幸	悦
	横浜市立大学小児科	新	村	一	郎
	福岡こども病院	本	田		恵
	国立循環器病センター小児科	神	谷	哲	郎
	都立小児保健院	松	尾	準	雄

### 共同研究

心疾患を有する小児の体力増進，あるいは健康作りのためには，各症例について，どこまで運動を行わせてよいかという指導指針が定められていなければならない。従来は心疾患児に対しては，もっぱら運動を制限するという発想で対処されていたものであるが，この発想を逆にしてどこまで運動をさせるかということを考えるための管理指導表は，児童・生徒については文部省研究班において作成されているが，幼児に関するものは全く作られていない。

そのために幼稚園，保育園における運動の実態を調査して，幼児用の生活管理指導表をまとめた。これは表1のごときものである。この表が各方面に普及されれば，心疾患を持つ幼児に対し有用なものになると考えられる。

表 1 幼児用（3歳以上）心臓病管理指導表

昭和 年 月 日

幼稚園，保育園名 組 医療機関

所見名 (診断名) 氏名 (歳 月) 医師 ㊦

	幼稚園・保育園生活規制面からの区分	運動・遊びの種目			その他の行事
		軽い運動	中等度の運動	強い運動	
		簡単な体操 すべり台 ジャングルジム シーソー なげっこ ボールおくり 箱車 わらべうた遊び リズム運動 砂遊び	とびっこ ならびっこ まる鬼，陣取り鬼 ぶらんこ うんてい 登り棒 ボール鬼 たまあて マット遊び 低鉄棒遊び リレー遊び，円形ドッジボール， 水遊び	かけっこ 追いかけ鬼 なわとび	I 運動会 Aは禁，B・C・Dは左記の強度区分を参考にし，種目により参加可，Eは可 II 遠足，見学 Aは禁，B・C・Dは内容により条件つき可，Eは可 III 宿泊を伴う行事（おとまり会など） 医師との協議が必要
1. 要医療 2. 要予防内服 3. 要観察 異常あるとき及び1年に1～2回の観察を必要とする	A	禁	禁	禁	注1：この表の強度区分は，一つの基準を示すものであるが，同一の運動種目でも実施方法により強度区分は変るものもある。また，ここにあげた種目以外についてもそれぞれの内容を考慮して強度を区分する。 注2：スポーツクラブ（スイミングクラブ，バレー教室，体操教室など）の参加は医師との協議が必要である。
	B	可または禁 (どちらかに○を)	禁	禁	
	C	可	禁	禁	
	D	可	可	禁	
	E	可	可	可	
管理区分決定のめやす	A 在宅医療又は入院の必要なもの	B 1. 心不全の既往あり，かつその危険のあるもの 2. 心不全で治療中のもの 3. チアノーゼ強く運動障害の強いもの	C 1. A・B以外の重症心疾患 2. 心筋疾患及び心電図変化の著明な術後の心疾患，その他運動に際し危険を伴う可能性のある疾患	D 中等症の心疾患	E 1. 軽症先天性心疾患 (ASD, VSD, PS) 2. 運動負荷で軽快する不整脈